

クオリティー

アメリカ等外国の「ホースシューズ」と「輪投げ」をミックスして考案された輪投げゲームです。特徴は、リングが目標棒に入らなくてもリングの一部が得点板内であれば得点となり、次のプレイヤーの機転で、すでに投げられた味方のリングを有利にしたり、相手のリングを不利にしたりできるのが面白いところです。こどもから高齢者まで楽しめる健康スポーツです。

場所（屋内・屋外）

- 体育館、広場など

人数

- シングルス（1人対1人）
- ダブルス（2人対2人）

用具

- ボード（75cm×75cm 正方形、傾斜角度は60度）
- リング20個（金10/銀10）



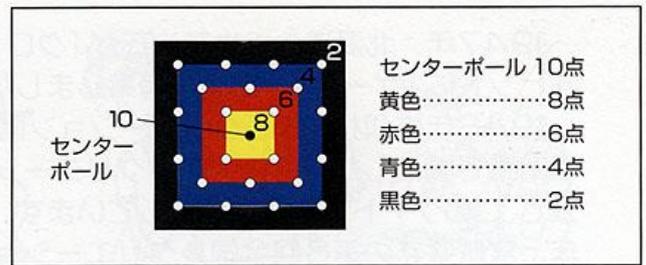
競技方法(主なルール)

- ① ジャンケンで投輪の順番を決めます（先攻は銀色、後攻は金色）。
- ② シングルスは交互に1投ずつ 各々計10回リングを投げます。
- ③ ダブルスは先攻側の1人目→後攻側の1人目→先攻側の2人目→後攻側の2人目の順序で、1投ずつ各自5回投げ、前半の得点を数えます。後半も前半同様に1人5回投げ、得点を数えます。
- ④ 競技は、3セット又は1セットマッチプレーで行います。3セットマッチプレーの場合は、先に2セット先取した方が勝ちです。
- ⑤ 勝敗は、得点の総合計で決めます。同点の場合は、センターボールに多く入った方が勝ちとします。それでも同数の時はジャンケンで決定します。
- ⑥ 得点は、ボード上でのリングの位置や、相手チームのリングと味方チームのリングの重なり具合によって変わってきます。有効な得点とは、ボード上にリングがあることが条件です。何点になるかはボード上に色分けされたエリアのうちリングが半分以上かかっているエリアの点数によって決まります。有効得点になる場合は次のとおりです。
 - (1) ボード上に単独にあるもの
 - (2) 相手チームのリングの上に3分の1以上重なっている場合
 - (3) センターボールにかかっている場合
 - (4) リアクションボードを利用してボード上にリングがある場合

★反則について（無効得点）

- ① 投輪の順番を間違えた場合
- ② 投輪時にラインを踏んだり、ラインから足が出た場合
- ③ 両手でリングを投げた場合
- ④ 投げたリングが落ちて静止しないうちにプレイヤーが動いて、ラインより前に出た場合
- ⑤ 1度に2個以上のリングを投げた場合

★得点について



★投輪距離について ※各距離10回ずつ投げます

- (1) 小学3年生まで
3m、4m
- (2) 小学4年生から小学6年生まで
4m、6m
- (3) 中学生から一般（59歳まで）
5m、7m、9m
- (4) 高齢者（60歳以上）
4m、6m

